

■ 不審ヶ辻子の鬼 ■
 なるまち民話
 ある夜、松浦いう家に忍び込んだ盗賊が捕まえられて殺されてもった。そうしたら盗賊が鬼になって元興寺の鐘楼に夜な夜な現れるようになってん。退治しよ思て朝まで戦ってんけど、不審ヶ辻子のあたりでさっぱり消えてもってん。
 新薬師寺に移された鐘には爪痕がようさん残ってるんや。
 はて、鬼はどこ行ったんやろなあ。

■ 餅飯殿の由来 ■
 なるまち民話
 昔大峰山中の阿古滝に悪い大蛇がおった。退治するんを奈良に住んでたえらい力持ちで勇敢な箱屋勤兵衛っていうひとに助けてもらたんやけど、勤兵衛はよう餅飯(もちいど)を大峰山の大師にお土産にしていってんや。上司は勤兵衛を餅飯殿(もちいど)のってあだ名つけて呼んどってん。
 勤兵衛もまさか自分のあだ名が街の名前になるとは思わんかったやろなあ。

アジールさんぽ

第2回は『陰陽師と奈良の怪』と題し、現在の陰陽町(いんようちょう)の地に住んでいた陰陽師たちの仕事や、ならまちに伝わる伝奇をご案内いたします。(総行距離4km)

参考:ならまち民話地図(奈良の民話を語り継ぐ会作)
 【ならまち民話地図とは】
 ならまちに眠る怪談、不思議話を掲載している。

赤字 ... ご紹介場所 黒字 ... 主要駅名称
 緑字 ... 主要道路名称 青字 ... 他の観光地、目印になるような建物

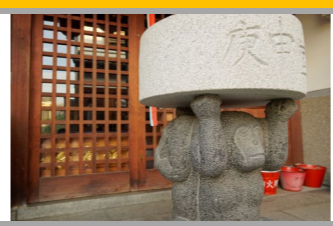
■ 鎮宅霊符神社 ■



1117年に創建されたこの神社は、陰陽師の鎮守の祭壇所でもありました。この辺りにも陰陽師が住んでいたことから、所在地は「陰陽(いんよう)町」と呼ばれています。どこか笑ったように見えるお顔の狛犬は必見!

【アクセス】
 徒歩:ホテルより約20分
 バス:「近鉄奈良駅」下車

■ 庚申堂 ■



奈良に残る庚申信仰を垣間見るお堂。奈良町の家の軒先に見られる「身代わり猿」と呼ばれるお守りは、魔除けとして親しまれております。また、背中に願い事を書いてつるすと願いが叶うといわれ、「願い申」とも呼ばれています。

【アクセス】
 徒歩:ホテルより約20分
 バス:「田中町」下車

■ 御霊神社 ■



桓武天皇が建立した御霊神社がお祀りしているのは井上内親王。権力争いに巻き込まれた井上内親王とその御子他戸親王をはじめとして、無念に散った御霊を慰霊しています。結局、怪異より人間の方が怖いですよね。

【アクセス】
 車:ホテルより約10分
 バス:「田中町」下車

■ 浮見堂 ■



奈良公園を散策するなら絶対見てほしいスポットのひとつ。毎年8月に行われる燈花会では、ひとつひとつ人の手で灯するうそくの幻想的な光に包まれる浮見堂を、小舟に乗って見るすることができます。

【アクセス】
 車:ホテルより約10分
 バス:「春日大社表参道」下車